

# やよい

## 迎春



中野区長  
田中 大輔

明けましておめでとうございます。昨年は豪雨による水害、がけ崩れや火山の噴火、地震など各地で災害が多く発生しましたが、今年は平穏な年であって欲しいと願っております。

地域センターが区民活動センターに転換して今年で五年目を迎えます。運営委員会を中心とした地域の皆様の熱心な活動のお陰で活動内容が充実してきています。当弥生区民活動センターでは広報関係でタウンニュースの発行部数が三倍になりカラー化も実現し、ホームページも開設され、また地域事業では、新規事業として映画祭や七町会ウォーキングが実施され、住民の皆様にご好評と聞いております。本年も運営委員会を中心に地域活性化に邁進される事を願っております。

弥生地区町会連合会の七町会長より新年のご挨拶を申し上げます。本年もどうぞ宜しく御願い申し上げます

編集・発行  
弥生区民活動センター  
運営委員会  
中野区弥生町1-58-14  
TEL 3372-0845  
FAX 3372-0846

- 朝日ヶ丘町会 加藤 洋右
- 弥生町一丁目東町会 原 利夫
- 弥生町二丁目町会 萩尾 孝之
- 弥一向台町会 金田一 榮
- 本一相生町会 小平 一位
- 東郷町会 川本 豊
- 道玄町会 佐野礼治



### 操法大会で優秀賞

十一月二日秋晴れの好天の中、中野区町会連合会主催の軽可搬ポンプとバケツリレーの操法大会が開催されました。

当日は弥生地区町会連合会からは、本一相生・東郷・弥一東・弥一向台の四つの町会が参加し日頃の練習の成果を競いました。結果は四つの優秀賞獲得と言う立派な成績でした。



特に本一相生町会は、軽可搬ポンプとバケツリレーの両方に参加し、いずれも優秀賞を獲得する快挙を成し遂げました。



### 日赤弥生分団救護フェスタ全チーム二位

十一月十五日さわやかな秋空のもと、弥生分団から今年は二競技に三チームが参加しました。一週間前から顔合わせをし、三人の救護リーダーが講師になり、毎晩皆さん時間を忘れるほど、熱心に練習に明け暮れた結果、三チームとも二位という素晴らしい結果に。弥生分団初めての、参加チーム全部が上位入賞するという偉業を達成しました。三角巾包帯リレーに出場した二チームは全くの同タイムで二位に入賞し、出場したメンバーの皆さんも驚きと嬉しさで入賞が本当なのかしらと話す人や毎日頑張った良かったと感想を話していました。最後の表彰式で並んでいる皆さんの笑顔は、



### 七町会を紹介します 弥生町一丁目東町会

弥生町一丁目東町会は、戦前越坂部鎌太郎氏を中心に活動が始まりました。戦後町会活動の復興による地域の整備発展・親睦を図るため、本郷通り町会という名称で活動が始まり、昭和四十二年六月より現在の名称に改正されました。



中央環状線の開通などで、周辺は高層ビルが建ち並び、住民の移動も激しくなりましたが、下の町の人情味もあり、活気溢れる町会です。行事も多彩で、その中でも五十年以上の歴史がある獅子舞保存会によるお正月の町内巡行や、本郷氷川神社祭礼の奉納神楽はなかなかの人気です。さらに町内の守り地蔵である「たから第六天尊」の五月のお祭りも賑わいを呼ぶ大事な行事です。これからも地域の安心を取り組んでいきます。(T)

### 避難所開設訓練

十一月三十日災害時の避難所となつている向台小の校庭で弥生地区の七町会が参加して避難所開設訓練を実施しました。備蓄倉庫等に常備されている避難所の運営に必要な資材を校庭に持ち出して実際に使えるようにセットする訓練を行いました。具体的には、①簡易

間仕切りの設置、②簡易ベットと仮設トイレ等の設置、③浄水器・揚水機・炊き出しバーナー等の組立と使用方法の訓練などがありました。従来の訓練と違い参加者が直接資材を組立たり使用方法を学んだりする事が出来ました。参加の皆さんは、大変有意義な訓練だったという感想を持ちました。



### 海の森育苗事業二ヶ年計画完遂

二十三年十一月、東京湾の埋立地の「海の森公園予定地」に植える苗木を育てるプロジェクトが始まりました。海浜公園で拾った種を八百十個蒔き、二十四年七月には芽が出た約四百七十の苗をポットに植え替えました。ポットを二つに分けて桃園小と向台小に預かって貰い、その後も小学校生徒と町会のボランティアが継続して水遣りを行いました。

立派に育ちました。十一月八日



途中雑草取りや培養土の補充等も行い苗木は順調に成長。二十六年十一月時点で両校合わせて三百七十三本が

には三百五十二本を海の森公園予定地に寄贈し、残り二十一本は両校と本町暫定公園に植樹して事業が終了しました。三年間で、毎年秋に合計三回の植樹ボランティアにも参加し、延べ参加人数百八十七名で合計約一千六百本の苗木を植樹しました。尚、本事業は

東京都の地域の底力再生事業、中野区の指定事業として認定され、助成を受けて活動しました。



た。十一月八日

### 人ひ



**鮎「すし」職人 小野 二郎さん (八九歳)**  
静岡県出身、本町三丁目在住四十五年。東京で鮎職人として修行し、一九六五年独立して銀座の現在地に「すきやばし次郎」を開店。皆様ご存知の通り、昨年アメリカのオバマ大統領訪日の際、安倍首相と会食を行ったお店で、ミッシェランガイド東京で三つ星を獲得している名店です。二〇〇五年には厚生労働省の「現代の名工」として表彰され、この度、秋の叙勲で黄綬褒章を受章されました。

健康には人一倍気を付けており、時間があれば歩くようにしておられるとの事です。特に鮎職人の命と言うべき手を守るため、外出時には必ず手袋をはめる程のこだわりをもちています。「生涯鮎職人」を公言されており、職人として最高の状態で寿司を提供し続けることで、究極のもてなしができるとの事です。息子さんは二人とも鮎職人として働いており、また奥様も長く町会活動で地域貢献されておられます。

### やよいかわら

#### ◆終活講座大盛況◆

十一月七日(金)午後、終活講座「今を充実して生きるため」を運営委員会とやよいボランティアコーナーの共催で実施しました。当日は三人掛けの机を十八台用意しましたが、予想以上に大勢の参加で席が足りなくなり追加するほど盛況でした。講師の具体例を交えたお話しは聴衆の皆さんの共感を呼んで、用意された「エディング・ノート」を記入しながら最後まで熱心に講演を聴いていました。



#### ◆日赤弥生分団研修旅行◆

日赤弥生分団としては初めての試みとして十一月十八日帰りの研修旅行が実施されました。当日は里まち連携事業で提携している甲州市を訪れ、午前中同市の社会福祉協議会で研修を受け、市役所職員から市の概要や豪雪時の対応等を、所長からは地域福祉や介護サービス等の説明を受けました。午後は農協で野菜を沢山を購入し、充実した一日を過ごしました。



#### ◆住民税・所得税の確定申告◆

一、特別区民税・都民税の申告期間↓二十七年二月十六日(月)～三月十六日(月) 土日除く。時間↓午前八時四十五分～午後五時。場所↓中野区役所一階区民ホール。問合せ 中野区税務担当 ☎三三二二八八八九一三

#### ◆本一高齢者会館◆

◆介護予防総合講座(栄養・口腔コース) 講師は栄養管理士  
第四回 「お口の健康は健康長寿のスタート」 一月八日(木) 午前十一～十二時  
第五回 「備蓄食品使ってバランスよく食べる」 一月十六日(金) 午前十一～十二時

#### ◆終活セミナー(全五回)◆

第二回 「住み慣れた自宅で暮らすために」 一月二十八日(水) 午前十一～十二時半  
第三回 「住み慣れた地域で暮らすために」 二月二十五日(水) 午前十一～十二時半 ※詳細や他の教室は電話でお問合せを。 ☎三三三三二二一九五八

### 朝日が丘児童館

◆学校地域連携事業「スポーツチャンバラと豚汁会」 一月三十一日(土) 午後一時半～三時半 講師・中野スポーツチャンバラ協会宮原和道氏。小学一年生以上で十五名迄。桃園小あおぎり館。参加費無料。

### 弥生児童館

住所 弥生町一―四四―六 ☎三三七二一〇八四一  
◆乳幼児親子の子育て広場「げんきっこクラブ」 冬期は一月九日(金)より開始です。毎週水・金曜日の十一時～十一時半です。  
●つくりんぼ工作↓一月十五日(木)・十六日(金) 午後四時～四時四十五分。自分のオリジナルのたこを作ります。一月十七日(土) 午後二時～二時四十五分に向台小学校の校庭で飛ばしてみましよう。  
※詳しくは児童館のおたよりをご覧ください。